

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
臨床医学D				岡本 悦司	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	3年次	講義	無	非公開
授業の概要 (Course Description)					
<p>消化器系疾患，腎尿路生殖器系疾患並びに，これらに関する悪性新生物を扱う。</p> <p>消化器系疾患は急性期一般病院において非常に多く見られる疾患が含まれており、各論においても、疾患の名称と症状に加えて、医師がオーダーすることの多い、治療(手術、処置、検査、薬剤)の名称についても詳細に扱うので、どのような治療用語がどの疾患と対応するか、また診療科によってどの疾患を扱うのか、という病院内の機能分担についても理解するレベルが求められる。</p> <p>腎尿路生殖器系疾患は、臨床科では泌尿器科，婦人科と密接であり，周産期・先天異常学と関連づけながら講義を進める。</p> <p>いずれも疾病の理解には解剖生理の知識が必須であり，履修済の解剖生理学と関連づけつつ講義を進める。他科目と同様，毎回終了時に小テスト(持ち込み不可)を行う。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> ・消化管の構造と機能を説明できる ・肝胆道の悪性新生物の診断，治療法を理解する ・腎臓の機能を理解し，腎不全の原因と治療法を説明できる ・男女生殖器の構造と違いを理解し，不妊の原因と治療法を説明できる 					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	上部消化管(口腔，食道，胃，十二指腸)の疾患				
第 2 回	上部消化管の悪性新生物				
第 3 回	虫垂疾患，ヘルニア，腹膜疾患				
第 4 回	下部消化管(腸)疾患				
第 5 回	下部消化管(腸)の悪性新生物				
第 6 回	肝疾患				
第 7 回	胆道，膵臓疾患				
第 8 回	肝胆膵の悪性新生物				
第 9 回	糸球体疾患，尿細管疾患				
第 10 回	腎不全と透析				
第 11 回	尿路結石症				
第 12 回	腎尿路疾患と悪性新生物(668～671頁)				
第 13 回	女性生殖器疾患と悪性新生物(678～683頁)				
第 14 回	乳がん(293～295頁)				
第 15 回	男性生殖器疾患と悪性新生物(672～676頁)				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
なし					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法	評価基準
(割合) (%) (%) (%)	期末試験を行う(持ち込み不可) 毎回の小テストと期末試験の成績の良い方を最終評価とする。
テキスト (Textbook)	【書名】 診療情報管理 I 【著者】 基礎課程小委員会 【出版社】 日本病院会 【出版年】 2016
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	
備考 (Other Information)	2年生対象の消化器・尿生殖器学と合同で行う。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メールアドレス:okamoto-etsuji@fukuchiyama.ac.jp 火～金は研究室にいますのでいつでも可